



第32回
茨城建築文化賞

茨城県知事賞「最優秀賞」土浦市営斎場
●株式会社 アール・アイ・エー

創業330年の実績
大切なヒトとモノを守る
安全・安心・快適な住空間をご提案

株式会社 奈良屋
代表取締役社長 横山 昌弘

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600番地15
TEL 029-241-5141 FAX 029-305-8733
<http://www.naraya-corp.co.jp>
mail:naraya-m@naraya-corp.co.jp

環境に優しく
高所で未来を創る
スチール・ウッド・エクステリア
SW事業部(先行手掛くさび足場)

MATSUMOTO-SOUKEN

代表取締役会長 松本 一幸

茨城県知事許可(特-29) 第21680号

株式会社 松本総建
— 特定建設業 —

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2
TEL 029-295-7715(代)
FAX 029-295-6548

本社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
営業所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊那3891-6
第一機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1

《 営業内容 》 ■ 枠組足場工事 ■ くさび式先行手掛け足場
■ 建築土工事 ■ 土木工事 ■ 足場提案企画 ■ 鉄骨建方工事
■ 外構工事

寿レンダリングス 建築バーススタジオ
KRDスタジオ
LOTOBUKI RENDERING DESIGN STUDIO

〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1丁目385-31
TEL 029・246・6588
mail:kotobuki-r@nifty.re.jp
<http://kotobuki-r.com/>

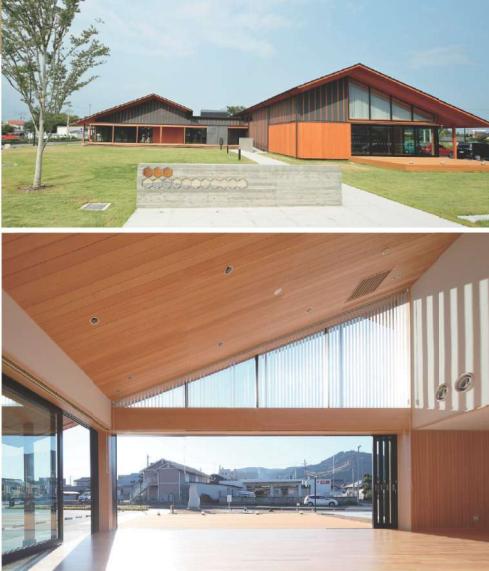
各種バース製作、お気軽にお相談ください。

計画の理念は「ENGAWA」空間の創出

敷地は笠間市の岩間地区に位置し、南西には日本三天防火神社として名高い愛宕山を臨むことができる。愛宕山は心の拠り所との想いから、地域の縁を紡ぎ、次世代に続く多世代交流を生み出すため、本計画の理念を「ENGAWA」と定めた。縁側は、内と外、人と人・もの・記憶・歴史を繋ぐ空間を創出することを意図した。

建物は雁行配置とし、北西棟を中心とした「おもなし空間」、東東棟を「市民活動空間」、2棟を繋ぐ中央棟を「拠点建築」となることを目指した。

「多目的空間」、愛宕山へと広がる外郭空間は、「みんなの広場」と位置付けた。「交流ルーム」南面には、イーベント等の「舞台」となる大縁側を設けた。外壁は隣接する岩間駅と同色の黒褐色として景観的統一を図り、大壁面には杉材の目地棒で軽快なリズム感を演出し、圧迫感も軽減させた。屋根勾配は愛宕山の稜線に合わせており、本施設が愛宕山などを自然の豊かさとの地の文化や歴史を次世代に語り継ぐ「地域の拠点建築」となることを目指した。



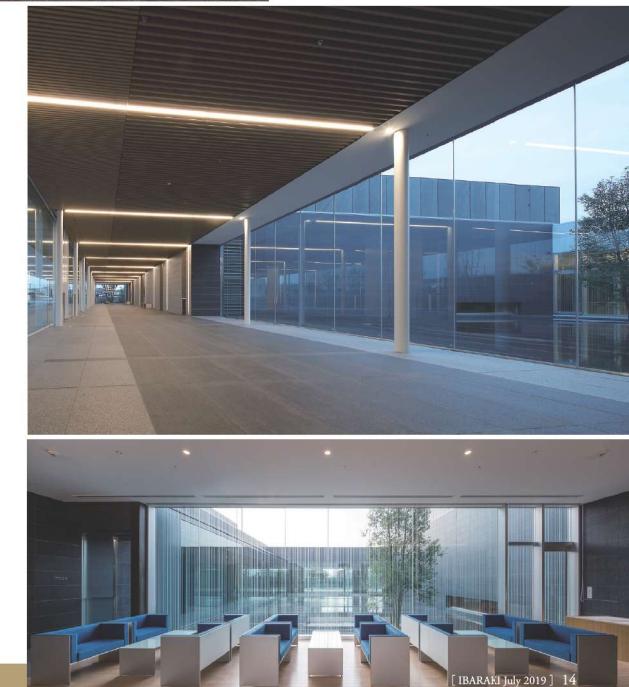
茨城県議会議長賞[優秀賞] 笠間市 地域交流センターいわま「あたご」

●株式会社 河野正博建築設計事務所 住所／茨城県つくば市研究学園5丁目6-6 D12-510 電話／029-861-8847
●協力事務所 構造／小林建築構造設計室 電気／川又設備計画 機械／NASアシリティーデザイン室
●建物所在地／茨城県笠間市下郷字芝山4438番7
●建物用途／集会場 ●構造／交流棟木造、駐車場・駐輪場鉄骨造
●建蔽面積／1263.686m²(交流棟・駐車場・駐輪場 計) ●延床面積／1,004.987m²(交流棟・駐車場・駐輪場 計)



茨城県知事賞[最優秀賞] 土浦市営斎場

●株式会社 アール・アイ・ユー 住所／東京都港区港南2-12-26 港南パークビル 電話／03-3458-6603
●建物所在地／茨城県土浦市田中2丁目16-33 ●建物用途／火葬場
●構造／RC造一部S造 ●建蔽面積／3,949.50m² ●延床面積／4,100.92m²



原風景を考え、その融合と調和をめざした

本施設は人体炉6基、汚物炉1基、式場2室を備えた平屋建ての斎場である。敷地は屠畜場や高架道路、宿泊施設などが隣接しているため、周囲に樹木を配置するとともに、アプローチ前面に緑の丘を計画することで、周囲からの騒音や相互の視線を遮り、葬送にふさわしい静謐な空間を創出した。

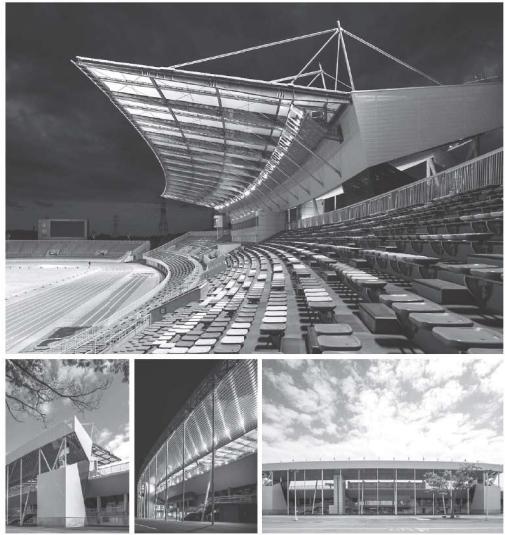
穏やかに広がる水平線とその先に望まるものとの美しい関係。水平線とは霞ヶ浦や郊外の田園、その先に望まるものは市街地や集落を連ね、葬送にふさわしい静謐な空間を創出した。

その結果、ファサードは様々な変化を許容しつつ水平に延びる壁と、その先(上)に幾つかの塊が望まれる風景として成立している。また、中庭、自立壁、底下空間などによって形成される中間領域による空間の質的交換により、閉じた施設となりがちな斎場には稀な内部と外部が自由に浸透し合う施設となった。

落成筑波山に代表される山々を指している。私たちはそれが土浦の原風景であると考え、このような場所との融合と調和をめざした。

茨城新聞社賞[優秀賞] 笠松運動公園陸上競技場

●株式会社 三上建築事務所 住所／茨城県水戸市大町3丁目1番26号 電話／029-224-0606
●建物所在地／茨城県那珂市向山1282-1 ●建物用途／陸上競技場 ●構造／S造(屋根)造



2019年9月に茨城県で2度目となる国体が開催されます。1974年の初の茨城国体の際にイン会場として整備された笠松運動公園メインスタンドを再び「大会の顔」として整備し、開会式に天皇陛下をお迎えするためにメインスタンドの屋根を新調することとなりました。

スタンドの躯体に頼らない構造とすることと、ロイヤルボックスに雨がかかるないようにすることを前提としました。長さ100mの屋根

の両端に7.5m×7tの耐震コアを設け、キール梁で繋ぐことで20mの片持ち屋根を支持しています。県を縦断する六号国道からのアイン会場として整備された笠松運動公園メインスタンドを再び「大会の顔」として整備し、開会式に天皇陛下をお迎えするためにメインスタンドの屋根を新調することとなりました。

見上げて鏡面として、来場する人々や周囲の豊かな緑を映し出し、スポーツ観戦の興奮を増幅させるものとしました。

空に浮いて見える梁でスタジアムイメージ刷新



茨城県土木部長賞[優秀賞] アルカス土浦

●株式会社 INA新建築研究所
住所／東京都文京区白山3丁目1番8号 電話／03-5802-3211
●建物所在地／茨城県土浦市大和町1番1号
●建物用途／中央図書館、市民ギャラリー、交番、民間施設 ●構造／鉄骨造
●建築面積／4076.82m² ●延床面積／13,264.64m²



【住宅部門最優秀賞】中庭のある家

●株式会社 カナザワ建築設計事務所 住所／茨城県水戸市吉沢町1263 電話／029-246-6812
●建物所在地／茨城県水戸市 ●建物用途／専用住宅 ●構造／木造 ●建築面積／164.32m² ●延床面積／182.25m²

プライバシーを確保しつつ開け放す住まい

水戸市内の市街地にある敷地の為、3方向は既存住宅が隣接し視線が気になる状況にある。どのようにプライバシーを確保しつつ外部に対する開放的な空間をつくれるかが課題であった。南北に綾長の敷地の場合、南側にパブリック空間(LDK)北側にプライベート空間(寝室)を配置するのが一般的である。しかし今回は逆転の発想で南側に寝室、北側に開放的なLDKを中心とした大きな外部空間(中庭)を設けた。南側のプライベート空間を



コンパクトにし中庭及びLDKへの光が十分に入るようになした。道路からの視線を気にせずに大きな開口部を開け放すことが可能な住まいとなり、街中においても明るさ、開放感、プライバシーを同時に実現した。また、大きなガラス面には特に別に配置した断熱ロールスクリーンを配して冬のコールドドロフトを防いでいる。施工は、薪ストーブの炎とライアップされた庭を眺めながらゆったりとした家族団らんを楽しんでいる。

土浦駅西口の賑わいと市民の学習・交流拠点として開かれた施設づくり

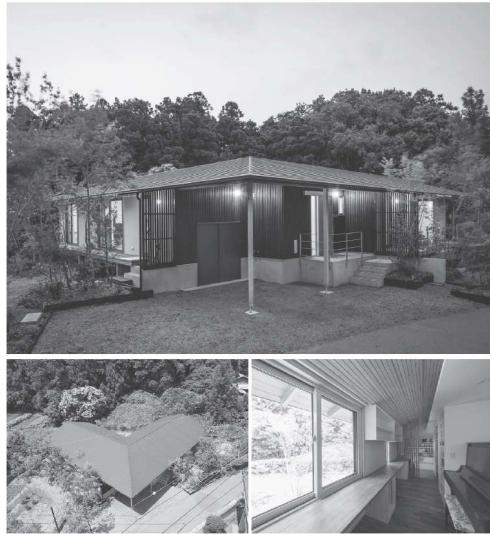


公共の図書館と市民ギャラリーを核に民間施設も入る再開発事業である。駅前の賑わいと周辺活性化が求められた。1階イベントプラザから4階屋上ガーデンへと続く大階段「ステップガーデン」と、土浦駅・市役所ともペデストリアンデッキで繋がる立体公園のような施設は人々が行きかう風景を駅前に作り出している。市民ギャラリーは、本格的な展示と各種講座や教室に対応の2種類のギャラリーを設け多様な活動に応える「賑わいづくりのギャラ

リー」とした。図書館は、駅から繋がる2階正面に入口を配置。2階は通勤通学時や乳幼児連れでも利用しやすい立寄り型図書館。3階は豊富な資料と静かな閲覧環境、充実したレブレンスサービス。4階は学習室とコミュニケーションベースを設けた学習交流空間である。ハイサイドライトから静かな光が降り注ぐ吹抜けが各階を繋ぐ空間構成で、見る見られる学びと交流の風景が駅前に広がる「交流の図書館」のイメージとした。

[住宅部門優秀賞] 4つの庭

●有限公司 宮本建築アトリエ 住所／茨城県水戸市千波町2274-18 電話／029-844-7711
 ●建物所在地／茨城県取手市 ●建物用途／戸建て住宅
 ●構造／木造 ●建築面積／1412.60m² ●延床面積／115.47m²



異なる性格を持つた庭のあるL字型の住宅

敷地北側には雜木林が残っており、緑豊かな場所となっています。祖母の畑として利用されていた土地に、孫夫婦が住宅を建てる計画です。少し変形した敷地に対し、L字型の住宅を中央に配置して、入り口の庭は木の屋根が架けられた車や来客を迎える場所とし、サ・ビスポートは次回りや寝室に

面して朝日のそぞく庭として、北庭はリビングや家族コナーや書斎というゆったりと過ごす場所に面しています。その中に大小様々な家族の居場所を配置することで、家中を自由に使いながら生活できる住宅を考えました。

[入選] 吊り梁のシルエットルーフ

●飯田貴之建築設計事務所 住所／茨城県つくば市上ノ室967-1 電話／029-845-7343
 ●Live Haus 建築設計事務所 住所／茨城県つくば市下広岡293-19 電話／029-857-6944 (Live Haus 建築設計所)
 ●協力事務所／KMC ●建物所在地／茨城県つくば市研究学園4丁目2-25 ●建物用途／事務所 ●構造／木造 ●建築面積／182.00m² ●延床面積／286.47m²



地域の物語を考える

本建築は木造住宅メーカーの事務所であり、地域に根差す意志と木造の可能性を表現する計画が求められた。地域に根差すとは、木材供給者、施工者、設計者、発注者そして使い手までを含む地域の「人が主役となり、建築の「地産地消」と技術や経験値の「地域内循環」という物語を共有することと捉えた。方丈場産の小径材で大空間をつくることで木材の可能性を表現すべく、120×60のビノキ材をラブダーセで多くの三角形を形成す

るよう、ビス留めし必要な曲げ剛性を確保した筑波山のシルエットになぞらえた湾曲版構造である。小径材を束ねて自由な形状が得られる構法は、大工工事ができる為、工事費の削減にも寄与できる。また

大規模工事に頼る必要性が無いため地域の物語もつくりやすい。夕暮れ時、細かな木組みが浮かび上がり美しい行灯が街に現れる。この美しい佇まいが新たな「つくばらしい風景」の一つになれると願つて計画

[住宅部門優秀賞] YS邸

●株式会社 アブルデザインワークショップ 住所／東京都文京区湯島3-12-2 杏林ビル4階 電話／03-3815-5304
 ●協力事務所 構造／小西泰孝建築構造設計 実施／機械／有限公司 EGS plus
 ●建物所在地／茨城県鹿嶋市 ●建物用途／戸建て住宅 ●構造／木造 ●建築面積／1424.7m² ●延床面積／133.22m²

住み手のライフスタイルを丁寧に読み込んだ海際の住宅です。建主家族は以前からこの場所で生活していたが、家族の中心である母親の足が不自由になってしまったことを機に、家を建て替えることにしました。この敷地の一番の特徴は、雄大な鹿島灘に面した高台にあることで、家族との関係を大事にしていました。母親の部屋を海が見え、北にある既存の庭の桜や藤棚を眺めることができるのは東側に設け、そこを中心に、各部屋を配置していく

ます。リビングを南側、2階の娘の仕事場は玄関を介して西側に配置し、部屋で過ごすことの多い母親の気配をいつも家族で感じられる様になりました。また、この家は他に3人いる子供世帯も頻繁に集まるための場所であり、2階は大人数が滞在できるようになっています。将来は2階を子供世帯が使う2世帯住宅とすることも考慮されており、生活の変化に合わせて大家族が使い続けることができる場所となっています。



[住宅部門優秀賞] つくばみらいの家

●株式会社 練崎弘之建築設計事務所 住所／東京都渋谷区代々木5-9 シャンボール代々木301 電話／03-3465-1993
 ●協力事務所 構造／△A構造設計事務所合同会社 電気、機械／有限公司 田宮電気
 ●建物所在地／茨城県つくばみらい市 ●建物用途／戸建て住宅 ●構造／木造 ●建築面積／6207m² ●延床面積／107.04m²

シームレスに家族が関係しあう新たな環境

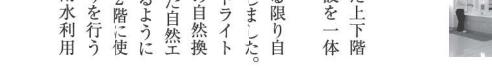
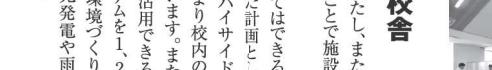
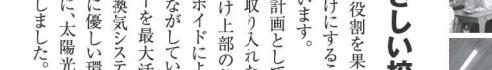
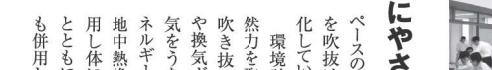
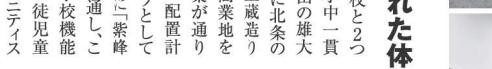
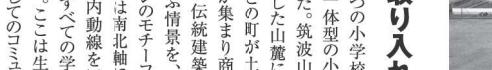
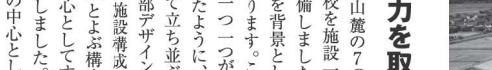
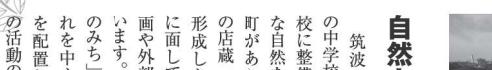
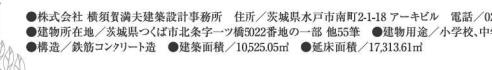
夫婦二人、子供二人が住む住宅。敷地はつくばエクスプレスみらい平駅近く、開発が進む郊外の分譲地、その中でうまれた不整形な角地である。敷地を訪れたときに感じたのどかで広がりを持った場の雰囲気を残しながら、ここにしかないこの場所に建つべき建築を作りたいと考えた。不整形な敷地の形状、角に立つ電柱の位置、隣家の建ち方、方位、また建築が建つことによってできる余白の部分も同時に考えることでの建築の配置、形状プラン



が同時に決定された。同時多発的にできた内部と外部は、そこにある環境を観察し応答することで生まれることにしない姿にならざるべく間仕切りを作らずに全體が繋がっているようにしたいといふ施主の要望は、必要最小限の耐力壁と少しだけ段差を作ることで、なるべく間仕切りを作ることで場所性を与え、緩やかにひかけた曲線の壁によってシームレスに家族が関係しあう新たな環境を作り出すことで叶えることができた。

[入選] 日本リーテック総合研修センター

●株式会社 日建設計 住所／東京都千代田区飯田橋2-18-3 電話／03-5226-3030
 ●東鉄工業株式会社 住所／東京都新宿区信濃町14番地JR信濃町ビル4階 電話／03-3369-7625
 ●建物所在地／茨城県取手市ゆめみ野4-2-1 ●建物用途／研修所、寄宿舎、自動車庫 ●構造／RC一部S造 ●延床面積／8,070.411m²



審査委員 ※敬称略・顔不同・役職は平成30年3月現在

長島一道(国立大学法人筑波技術大学産業技術学部総合デザイン学科教授)／熊澤貴之(国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科准教授)／加藤研(国立大学法人筑波大学芸術系助教)／江原秀明((一財)茨城県建築センター理事長)／海老沢和雄(茨城県土木部都市局建築指導課課長)／柴和伸(一社)茨城県建築士会会長

[リフォーム賞]

笠間歴史交流会館 井筒屋

●株式会社 建築設計室匠工房 住所／茨城県つくば市花園3番地3 電話／029-853-5028
 ●建物所在地／笠間市笠間987番地の一部、988-3番地の一部 ●建物面積／236.6m² ●延床面積／82.16m²

笠間稻荷門前通り周辺の景観
 整備の一環で築125年の建物を改修(再生・整備し、門前通りのランドマークとして計画した。
 建物は曳き家で移転し前面に広場を設け、多様なイベント等に使用可能な配置とし、人々の集う場となる。又、建物の1階には門前通りと直線上の位置に石畳(古石畳)の通り抜けを新設し稻荷周辺一帯の回遊性を向上させる回遊ルートの中心と位置付ける。笠間稻荷から西側高台に点在する各公園、史跡を行き交う人々の拠点として賑わうだろ。

木造で耐震補強を伴う改修(再生)工事は構造的制約が多く高難度だが、既存に使用された古材の再利用、笠間市由来の材料、伝統的手法を多用し市民及び観光客に親しまれてきた昭和初期の雰囲気を作り上げることができた。
 外装では2、3階に縁廊下及び透かし入りの欄干を復元し当時の雰囲気を取り戻した。外部造作は樹脂系塗料等の使用は最小限にすること、木材の経年変化を感じる(楽しむ)建物にした。



講評

筑波技術大学 産業技術学部総合デザイン学科 教授 長島 一一道

〔第一次審査の経緯〕

今年の応募作品数は35点で内住宅が13点と最も多く、新築と改修、小規模から大規模まで、民間建築から公共建築までの力作そろいであった。3月19日に審査委員6名が水戸市内の審査会場に出席して第一次審査を実施した。

まずは審査会場に展示された全作品を審査員が点検確認した後、一人10票の持ち点で投票に入った。そこで10票以上の得票数2票以上を獲得した5作品を第一次審査(現地審査対象作品入選以上)とした。

さらに議論を行い、それまでの投票で計5票以上獲得した作品を入選とした。

上記の現地審査対象5作品の中には住宅作品、リフォーム作品はなかった。そこで一回目の投票で1票以上を獲得した住宅作品を対象に一人1票の持ち点で第二次投票を行った。そこで4票以上を獲得した作品について審議を行い、一人5票の持ち点で第二次投票に移った。その持ち点で住宅リフォーム、建築の大小、種別を問わず第二次投票を行った。そこで4票以上を獲得した作品について審議を行い、結果3作品共に同得票数となりて、審査員全員でその評価をもとに再度議論を交わした。その後審査委員一人2票の持ち点での再投票を行った結果得票順に「あたご」が多数の票を集めて議会議長賞となつた。更に3作品に対する投票を行った結果3作品共に同得票数となりて、審査員全員でその評価をもとに再度議論を交わした。その後審査委員一人2票の持ち点での再投票を行った結果得票順に「あたご」(株)河野正博建築設計事務所が最高得票数となりて、内閣議長賞となりました。また、「アルカス土浦」が土木部長賞、「笠松運動公園陸上競技場」が茨城新聞社賞に選定されました。

まずは審査会場に展示された全作品を審査員が点検確認した後、一人10票の持

ち点で住宅リフォーム、建築の大小、種別を

問わず第二次投票を行った。そこで4票以

上を獲得した作品について審議を行い、一

人5票の持ち点で第二次投票に移った。その

持ち点で住宅リフォーム、建築の大小、種別を

問わず第二次投票を行った。そこで4票以</